

平成28年熊本地震支援活動報告会

「今求められる支援の在り方」

災害ボランティア活動支援プロジェクト会議(以下支援P)と全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(以下JVOAD)は、地震発生直後の4月15日から現地にスタッフ・支援者を派遣し、政府・行政、支援活動を行うNPO・NGOと連携体制をつくりながら、約3か月間、被災者支援活動を実施してきました。

今回の報告会では、連携・協力による災害支援に取り組んできた支援P・JVOADが、発災以降、行政、社会福祉協議会、企業、NPO/NGOと共に見てきた熊本の状況と支援活動の現状について、熊本支援に取り組む企業、NPO/NGOの皆様にお伝えし、これからの支援を共に考える機会にしたいと考えております。

日時・会場

平成28年7月12日(火)

18:00~20:00(開場17:30)

新霞が関ビル(5階) 第3~5会議室

〒100-8980 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号

<アクセス>

銀座線「虎ノ門駅」11番出口より徒歩5分

千代田線・丸の内線・日比谷線「霞ヶ関駅」A13番出口より徒歩8分

千代田線・丸の内線「国会議事堂前駅」3番出口より徒歩5分

プログラム

活動報告

- (1)災害ボランティア活動支援プロジェクト会議(支援P)
- (2)全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD)

パネルディスカッション

「現状の課題と今後の支援について」

主催



災害ボランティア活動
支援プロジェクト会議



全国災害ボランティア
支援団体ネットワーク

プログラム詳細

当日スケジュール(予定)

18:00 開会

18:05 活動報告

1. 災害ボランティア活動支援プロジェクト会議
2. 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク

18:50 パネルディスカッション
「現状の課題と今後の支援について」

<概要>

避難所・応急仮設住宅・みなし仮設・在宅被災者・孤立集落等、様々な避難形態による応急的措置の段階にあって、被災者一人ひとりの暮らし再建に向けて民間セクターに求められること、必要なセクター間の連携等について協議する。また、地震発生から3か月の時間経過に伴い、首都圏を含む遠方からできる支援を模索する。

19:50 質疑応答

20:00 閉会

パネルディスカッション登壇者

熊本県 健康福祉部健康福祉政策課
福祉のまちづくり室長
木村 忠治 氏

熊本市社会福祉協議会
事務局長・熊本市災害ボランティアセンター長
中川 奈穂子 氏

MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社
総合企画部 部長 CSR推進室長
山ノ川 実夏 氏

熊本YMCA
YMCA益城ボランティアセンター長
秋寄 光輝 氏

被災地NGO協働センター
代表
頼政 良太 氏

<コーディネーター>
全国災害ボランティア支援団体ネットワーク
代表理事
栗田 暢之

主催団体



災害ボランティア活動 支援プロジェクト会議

企業、NPO、社会福祉協議会、共同募金会等により構成されるネットワーク組織。平常時は、災害支援に関わる調査・研究、人材育成や啓発活動、災害時は多様な機関・組織、関係者などが協働・協力して被災者支援活動を実施。



災害時の被災者支援の地域、分野、セクターを超えた関係者同士の連携の促進および支援環境の整備を目指し、官と民、民間団体同士の連携を作り出し、情報の集約と広域でのコーディネートをするための仕組みづくり等を実施。

申込方法

「お名前」「所属」「ご連絡先」をお伝えの上、電話もしくはメールでお申し込みください。

TEL 080-5961-9213(直通)

E-mail info@jvoad.jp

<問い合わせ先>

全国災害ボランティア支援団体ネットワーク 事務局(担当:小竹(しの))
〒100-0004 東京都千代田区大手町2-2-1 新大手町ビル267-B